

透析合併症とは

腎臓が悪くなると腎臓の働きである水分調整・毒素の排出・ホルモンの分泌が出来なくなり、様々な症状や病気が発症してきます。これが透析合併症と言われるもので代表的なものを下記に示します。

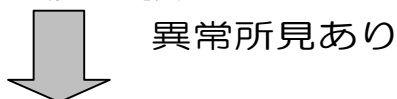
- ・血管系合併症：心血管・脳血管・下肢血管（ASO）・シャントトラブル
- ・悪性腫瘍：内臓器悪性疾患・造血器悪性疾患
- ・腎性骨異常栄養症：骨粗鬆症・二次性副甲状腺機能亢進症
- ・透析アミロイドーシス：手根管症候群・骨のう胞・内臓器への沈着
- ・感染症：腎不全に伴う免疫機能の低下（ウイルス肝炎）
- ・腎性貧血：造血ホルモンの分泌低下→EPO製剤で改善

スクリーニング検査の種類

一番身近かな定期スクリーニング検査としては、**定期採血やレントゲン、心電図**があります。これらの検査は様々な疾患の診断に役立つ基礎的な検査となります。

透析患者様の死亡原因として一番多いのが心不全など心臓疾患に関するものです。糖尿病により動脈硬化が進んでいる方が多くなってきているため、心血管系疾患も含め心臓のスクリーニング検査として下記の様な検査をしています。

- ・心臓超音波検査(1回/年)
- ・ホルター心電図検査(1回/年)
- ・トレッドミル負荷心電図検査
- ・64列心臓CT検査



異常所見あり

- ・心臓カテーテル検査

心臓スクリーニング検査で重要なのは、透析患者様（特に糖尿病の方）では感覚神経機能が低下しているため、狭心症などで心臓の血管が細くなっても胸の痛みなど症状が表れない方が多いため、早期に発見し治療できるようにするためです（図2）。

下肢の血管も心臓の血管と同様に動脈硬化の進行が早く、またもともと足の血液循環が悪くなっているため、治療をしても小さな傷から再び悪化する事が多くあります。そのため自覚症状の確認から始まり、**ABPI測定・**

下肢超音波検査・治療（PTA、手術、人工炭酸泉など）と総合的なフットケアに取り組んでいます。

死亡原因として次に多いのが感染症です。感染症には肺炎やウイルス性肝炎（B型肝炎・C型肝炎）などがあります。特にウイルス性肝炎の方は

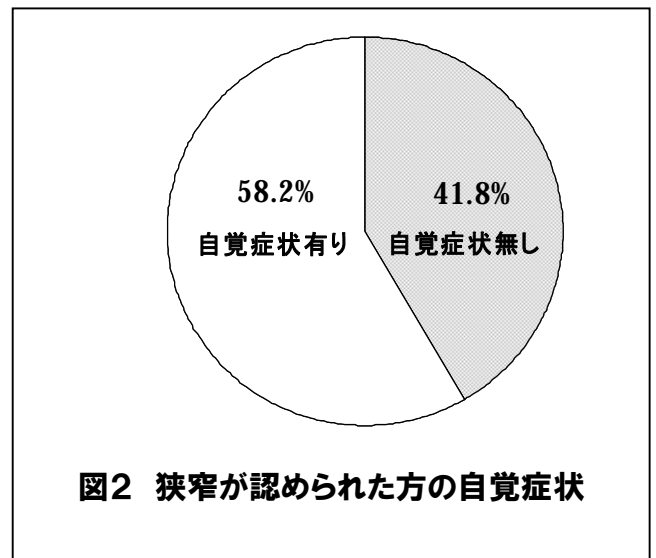


図2 狭窄が認められた方の自覚症状